日本語と日本文化は政治的に正しくなりうるかというより、人間は政治的に正しくなりうるかというのが本当のところと思っている。

努力がたくさんあるが、やはり容易な問題ではない。例えば、差別用語の意味を正すために、漢字を代えることもあるが、意味が変わらなかったり、もっと失礼になったりしている。もちろん、言葉は問題の大部分が、それだけでなく、自分の考え方も変えなくてはならない。言葉を改めても、まだ悪いと思う人がいる可能性がある。悪いように解釈しなくて初めて、完全に政治的に正しくなりうることが出来ると思っている。それに、辞書を例にとって見て、女性についての考え方を正せば、「女の浅墓さ」という例が出て来なくて、読んでいる人はそういうことを習わない。

皆の努力がたくさんあれば、かなり時間がかかるが、確かに、政治的に正しくなりうることが出来る。